

## 平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

平成 19 年 8 月 10 日

上場会社名 新日本理化株式会社  
 コード番号 4406  
 代表者 取締役社長 藤本 万太郎  
 問合せ先責任者 取締役財務本部長 加藤 純

上場取引所 大証一部  
 URL <http://www.nj-chem.co.jp>

TEL (06)6202-6598

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (％表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20 年 3 月期第 1 四半期	7,812	(1.0)	60	( )	236	(203.8)	227	(130.4)
19 年 3 月期第 1 四半期	7,736	(13.1)	9	( )	77	( )	98	( )
19 年 3 月期	31,764		326		406		383	

	1 株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20 年 3 月期第 1 四半期	6	01		
19 年 3 月期第 1 四半期	2	61		
19 年 3 月期	10	13		

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益につきましては、潜在株式がないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1 株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
20 年 3 月期第 1 四半期	36,927		15,101		40.9	398	25	
19 年 3 月期第 1 四半期	33,927		14,657		43.2	386	52	
19 年 3 月期	35,954		15,124		42.0	398	85	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20 年 3 月期第 1 四半期	156		664		716		1,532	
19 年 3 月期第 1 四半期	565		131		629		1,504	
19 年 3 月期	1,680		281		1,773		1,317	

2. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日) 【参考】

(％表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	16,100	4.1	110	64.5	290	90.1	250	34.3	6	60
通期	32,700	2.9	300	8.0	510	25.3	430	12.0	11	35

### 3 . その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う  
特定子会社の異動) : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

[(注) 詳細は、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】 3 . その他をご覧ください。]

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

現時点において、連結業績予想は前回発表(平成 19 年 5 月 11 日)の予想を修正しておりません。

本資料における予想、見通し等は、作成時における事業環境に基づくものであり、今後の事業環境の変化により、実際の業績が異なる可能性があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期におけるわが国経済は、原油価格の高騰、米国経済の減速などの懸念材料はあるものの、好調な企業業績を背景に民間設備投資が増加をつづけているほか、雇用環境が改善し、個人消費にも持ち直しの動きがみられるなど、緩やかに拡大を続けました。

しかしながら化学業界におきましては、石油化学原料や燃料が高止まりするほか、天然油脂原料もさらに騰勢を強め、厳しい事業環境が続きました。

このような状況のなか、当社グループは、引き続き生産の効率化、原材料の合理的な調達、物流の合理化、在庫の削減を進めるとともに諸経費の削減に努め、販売面では原材料価格変動に対応した価格是正を図るほか、採算性の高い製品の販売増に取り組んでまいりました。

この結果、当第 1 四半期の売上高は 7 8 億 1 千 2 百万円（前年同期比 1.0%増）、営業利益は 6 千万円（前年同期は 9 百万円の損失）、経常利益は 2 億 3 千 6 百万円（前年同期比 203.8%増）、四半期純利益は 2 億 2 千 7 百万円（前年同期比 130.4%増）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第 1 四半期末における総資産は 3 6 9 億 2 千 7 百万円となり、前期末と比較し 9 億 7 千 3 百万円増加しました。主な変動については、資産の部では、たな卸資産が 4 億 2 千 1 百万円増加、投資その他の資産が 3 億 7 千万円増加、負債の部では、短期借入金が 1 億 1 千 6 百万円増加しました。なお、純資産は 1 5 1 億 1 百万円、自己資本比率は 40.9%となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産の増加、仕入債務の減少等によるマイナスがありましたが、税金等調整前当期純利益、売上債権の減少、減価償却費等により 1 億 5 千 6 百万円のプラスとなりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得、投資有価証券の取得により 6 億 6 千 4 百万円のマイナスとなりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、主に借入金の増加により 7 億 1 千 6 百万円のプラスとなりました。この結果、当第 1 四半期末の現金及び現金同等物の残高は 1 5 億 3 千 2 百万円となり、前期末と比較し、2 億 1 千 4 百万円増加しました。

## 3. その他

## (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

## (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

減価償却の方法、法人税等の計上方法について、一部簡便的な方法を採用しております。

## (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

（固定資産の減価償却の方法の変更）

法人税法の改正（（所得税法等の一部を改正する法律 平成 19 年 3 月 30 日 法律第 6 号）及び（法人税法施行令の一部を改正する政令 平成 19 年 3 月 30 日 政令第 83 号））に伴い、平成 19 年 4 月 1 日以降に取得したのものについては、改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

これに伴う損益への影響は軽微であります。

## 4.(要約)四半期連結財務諸表

## (1)(要約)四半期連結貸借対照表

(単位:百万円,%)

科 目	前年同四半期末 (平成 19 年 3 月期 第 1 四半期末)	当四半期末 (平成 20 年 3 月期 第 1 四半期末)	増 減		(参考)前期末 (平成 19 年 3 月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
<b>(資産の部)</b>					
<b>流動資産</b>					
現金及び預金	1,530	1,558	27		1,349
受取手形及び売掛金	10,976	12,143	1,167		12,507
たな卸資産	3,571	4,275	704		3,854
その他	212	483	270		210
流動資産合計	16,291	18,460	2,169	13.3	17,921
<b>固定資産</b>					
有形固定資産	6,284	6,501	216		6,469
無形固定資産	13	113	100		80
投資その他の資産	11,338	11,852	514		11,482
固定資産合計	17,636	18,467	831	4.7	18,032
資産合計	33,927	36,927	3,000	8.8	35,954
<b>(負債の部)</b>					
<b>流動負債</b>					
支払手形及び買掛金	6,145	7,826	1,680		8,074
短期借入金	4,770	5,109	339		3,992
その他	1,718	2,729	1,011		2,296
流動負債合計	12,634	15,665	3,031	24.0	14,363
<b>固定負債</b>					
社債	220	30	190		30
長期借入金	2,437	1,978	459		2,163
繰延税金負債	1,920	1,892	27		1,983
退職給付引当金	2,002	2,046	44		2,076
その他	54	212	157		212
固定負債合計	6,635	6,160	474	7.2	6,465
負債合計	19,269	21,826	2,556	13.3	20,829
<b>(純資産の部)</b>					
<b>株主資本</b>					
資本金	5,660	5,660			5,660
資本剰余金	4,246	4,246			4,246
利益剰余金	2,294	2,668	373		2,565
自己株式	31	32	1		32
株主資本合計	12,170	12,543	372	3.1	12,439
<b>評価・換算差額等</b>					
その他有価証券評価差額金	2,787	2,605	181		2,789
繰延ヘッジ損益	22	162	140		112
為替換算調整勘定	329	179	149		224
評価・換算差額等合計	2,480	2,550	70	2.8	2,677
<b>少数株主持分</b>	6	7	0	14.3	7
純資産合計	14,657	15,101	443	3.0	15,124
負債、純資産合計	33,927	36,927	3,000	8.8	35,954

## (2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円，%)

科 目	前年同四半期 (平成 19 年 3 月期 第 1 四半期)	当四半期 (平成 20 年 3 月期 第 1 四半期)	増 減		(参考) 前期 (平成 19 年 3 月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売上高	7,736	7,812	76	1.0	31,764
売上原価	6,682	6,732	49	0.7	27,243
売上総利益	1,054	1,080	26	2.5	4,520
販売費及び一般管理費	1,064	1,020	43	4.1	4,194
営業利益		60			326
営業損失	9				
営業外収益	138	215	76	54.9	332
営業外費用	51	38	12	24.6	251
経常利益	77	236	158	203.8	406
特別利益	37		37		79
特別損失	11	4	7	59.9	84
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	103	231	128	125.0	401
税金費用	4	4	0	3.1	17
少数株主利益					0
少数株主損失	0	0	0	42.2	
四半期(当期) 純利益	98	227	128	130.4	383